

入院診療計画書

GB(ガザイバ+トレアキシン)療法をお受けになる @PATIENTNAME 様へ

血液内科 @PATIENTWARD 病棟 @PATIENTROOM 号室

主治医以外
の
担当者氏名

主 治 医 氏 名

担当医師
看護師長
担当看護師
管理栄養士

印

【患者または代理者同意署名】

年 月 日 氏名

* 代理署名の場合 患者との続柄 ()

病 名

症 状

手 術

特別な栄養管理の必要性

入院治療の目標（達成目標）

退院後の生活の注意点を理解できる。合併症の兆候について理解し、症状出現時には医療者に相談できる。

推定
入院期間

入院日(月 日)

2日目

3日目

3日目(退院日)

注射・
内服

自宅で内服している薬を確認し、入院中は医師の指示がある薬のみ内服します。

・吐き気止めの点滴を行います。
・トレアキシンの投与を行います。
※投与中または投与後に、点滴刺入部や血管に沿って痛みや違和感が出現した場合は教えてください。
・感染予防に必要な薬剤や胃薬が開始になります。
・必要に応じて腫瘍崩壊症候群予防のためのお薬が始まります。
※吐き気、その他気になる症状がある場合は我慢せずに相談してください。

・吐き気止めの点滴を行います。
・トレアキシンの点滴を行います。
・ガザイバの30分前に副作用を軽減する薬を内服します。(カロナール・ポラミン)
・アレルギー症状を抑えるための点滴を行います。
・ガザイバは副作用予防のため点滴の速度を調整しながら投与します。
・投与終了後、医師の指示により点滴を抜去します。

検査

・入院時にPCR検査を行います。
・必要に応じて血液検査や尿検査、心電図検査を行います。

なし

なし

なし

処置

体温、血圧、脈拍、酸素飽和度の計測を行います。

・心電図モニターを付けます。
・体温、血圧、脈拍、酸素飽和度の計測行います。特にガザイバ投与中は頻回に計測を行います。
・ガザイバ投与終了後、心電図モニターを外します。

教育・
説明・
指導

・医師より治療内容についての説明があります。
・薬剤師から治療スケジュール、使用する薬の作用と副作用の説明があります。
・看護師が自宅での様子、内服薬を確認し、入院生活について説明を行います。
・看護師がGB療法のしおりを用いて治療について説明します。
・通院治療センターの見学を行い、退院後の通院治療について説明します。
* 見学は退院までに行います。

・看護師がGB療法のしおりを用いて治療について説明します。
・通院治療センターの見学を行い、退院後の通院治療について説明します。
* 見学は退院までに行います。

・ガザイバの副作用（インフュージョン・リアクション）について説明します。普段と異なる症状があるときは教えてください。

・看護師が退院後の治療スケジュールを確認し、副作用出現時の対処方法（感染予防等）や生活で注意することについて指導します。

安静度

制限はありません。

点滴中は出来るだけ安静にお過ごしください。

制限はありません。

食事

体の状況に合わせて治療食が必要となる方もいます。 生もの（生魚、生肉、生卵）の摂取は控え、火を通してから食べましょう。

排泄

制限はありません。抗がん剤の排出があるためトイレ使用後は2回以上流すようにしてください。

清潔

シャワー浴が可能ですが、化学療法薬の投与中は避けてください。希望に応じて体を拭くタオルをお渡しします。

リハビリ

なし

その他

なし

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。
*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。
*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

山梨大学医学部附属病院
〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地 TEL:055-273-1111(代表)

2023年5月改訂

